

黒山道迷い(2010年9月)

山ガール二人の道迷い。登り道で踏み跡がなくなり、急斜面に出た。不安になり携帯電話で警察へ救助を求め事なきを得た。



解説

若い女性二人の山ガール。1時間ほど登ったところで、道に迷い、踏み跡もなくなり急斜面に出てしまったので携帯で110番し救助要請。携帯が繋がったので大まかな場所が特定でき、大声で叫びながら捜索。岩場を回り込んで大声を上げるとすぐ上から応答があり、急斜面で進退窮まっていた山ガールを発見した。帰り道で、「あっ、ここを左の方に入って行った」という。そこには太い木で通せんぼしてある。「これは、入ってはいけない印なんだよ」というと「ああ、そうなんです」と山ガール。

道迷いの多くは、地形図の知識を知らない方が多い。いや、やそもそも山の事を知らないで非日常の世界に入り込む方が多くの遭難を引き起こしているように感じる。

道迷い防止に、ぜひ、地図アプリの「ジオグラフィカ」をスマホにインストールして使っていただきたい。私の一番のお勧めである。